

# HPV予防ワクチン接種開始のお知らせ

## ～子宮頸がんがワクチンで予防できます～

### ご存知でしたか？

子宮頸がんは女性特有のがんとして乳がんに次いで発症率の高いがんで、日本では年間約 15,000 人が発症し、約 3,500 人が死亡していると推計されております。子宮頸がんがお年寄りの病気だというのは 40～50 年前の話であり、特に最近では 20～30 歳代の発症が急増しており、この年代では乳がんをはるかに上回っています。子宮頸がんは、ほぼ 100%が発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で発症します。発がん性 HPV には 15 種ほどの型があり、中でも HPV16 型と 18 型は子宮頸がんから多く見つかる型で、日本では全年齢では約 60%ですが、20～30 歳代では 80～90%を占めています。

発がん性 HPV は 8 割もの女性が一生のうちに一度は感染しますが、子宮頸がんを発症するのは感染した女性の 1%未満であり感染後数年～十数年後に発症すると考えられています。一方で、発がん性 HPV は感染しても免疫が出来にくいいため、何度も感染する可能性があります。そこで、HPV16 型と 18 型の発症を未然に防ぐワクチンが開発されました。

このワクチンは 3 回の接種により、免疫応答の増強により強力な血清抗体価を誘導でき、少なくとも 6.4 年間は高い抗体価が維持できることが確認されており、20 年間は高い抗体価を維持できると推計されております。

当センターでは、1 月 12 日（火）からワクチン接種（腕の筋肉に注射施行）を開始しました。接種をご希望の方は、事前に予約をお取りになり接種していただきます。料金は、1 回につき 21,000 円（税込）となります（3 回施行）。

お問い合わせ及びご予約は下記迄お願い致します。  
問合電話. 03-3499-1912（外来受付）  
予約電話. 03-3499-3170

平成 22 年 1 月 15 日  
東京女子医科大学附属成人医学センター